

庁舎整備の各候補地の整備概要案に対する評価項目（案）

庁舎整備にあたり、基本構想で設定した3つの候補地から建設地を選定するため、各候補地における特有の付加（条件）要素を踏まえた整備案により、次の観点で評価する。

評価項目（観点）		評価内容	評価軸
建設コスト		大月市の財政状況を踏まえ、付加（条件）要素を加味したうえで、整備費を相対的に評価する。	概算整備費
利便性	庁舎機能の集約・分散	利用者融通や職務連携において、庁舎機能の集約化が図れるかを評価する。	分散数 機能配置
	庁舎の形成（敷地・本体）	市民（利用者）や職員（従事者）にとって、諸室の間取りや使いやすさ、また無駄なスペースなどができないような整形な庁舎が配置できるかを評価する。	敷地形状 庁舎形状
	駐車場	庁舎敷地内に十分な駐車台数が確保できるかを評価する。（敷地形状も影響する。）	駐車台数
供用開始時期		本庁舎本館の老朽化が著しく、耐震性能に問題があることから早急な建替えが必須であるため、供用開始までの時期（期間）を評価する。	供用開始までの期間
既存商業機能への影響		庁舎の位置による周辺商業施設への影響度を評価する。	対象店舗数 移動距離
財源措置（補助金・起債・単費）		庁舎建設については、基本的に国や県からの補助金はないため、その他の付加（条件）要素にかかわる費用について、財政負担の軽減が見込める有効な財源措置が適用できるかを評価する。	財政支出の平準化 及び単費
その他		大月市の将来施策に対する効果・有効性を評価する。	※

「その他」※の注記

大月短期大学の体育館は、平成24（2012）年度に耐震補強が実施されているものの、公共施設等総合管理計画では、部室棟を含め建替えの方針（令和9（2027）年度～令和13（2031）年度）が出ており、A、C1、C2案にも将来的にその歳出を見込む必要があると考えられます。このため、B案では大月市全体として考えた場合の将来的な施策（財政支出）に対する効果、有効性があると言えます。